

同窓会報

発行者

上田千曲高等学校同窓会
事務局: TEL 0268-26-2898
<http://www13.ueda.ne.jp/~ucd90/>
印刷所: 田辺印刷株式会社

ご挨拶

同窓会長 大川 秀一 (昭和33・機)



東日本大震災以来のことでありま

す。日本中の人々が被災の皆様に優しい心を寄せられ、真剣に考えながら、支援救援を継続なされ、長い時間のかかる、日本の再生、再出発の中にあります。そして、安心・安全の基本的理念の見直しが国内はもとより世界各地で始まっております。

同窓生の皆様におかれましては、如何お過ごしでしょうか。日頃より母校の発展の為に、ご指導ご支援を賜り誠にありがとうございます。

歴史と伝統のもと、母校は一層活気に満ちております。

素晴らしい教育環境、条件と、さわやかで温かい校風につつまれ発展している千曲高校の姿に接し、改めて、恩師・教職員・同窓並びに関係の皆様に敬意を表し、感謝申し上げます。

同窓会本部では、この三月



いっばいで、学校校舎内からグランド南の桐葉館(西側部分を区画利用)へ事務局を移転し、新年度より、そこで事業を展開しておりますので、まず以てご報告申し上げます。

今後は、折に触れ桐葉館にお寄り頂く機会が増え、それと合わせて、広い校庭で心身鍛錬に余念のない運動部の活動をご覧頂く場面も出てまいりましょう。

少しでも、親しみの感じられる事務局となりますように努力したいと思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

長野県上田千曲高等学校の同窓生が、地域を支え、社会を支え、国内外、至る処で輝かしいご活躍をなされておりますことに常々敬服いたしております。

同窓皆様の親睦交流が増進されますよう願いますと共に、母校の一層の発展に寄与したいものと念じ、ご挨拶とさせて頂きます。

ご挨拶

学校長 宮坂 千文



平成二十三年四月より本校にお世話になっております。

どうぞよろしくお願いいたします。また、常日頃より、同窓会会員の皆様には本校の学校運営にご理解とご協力をいただきまして、厚く御礼申し上げます。

去る四月七日(全日制)二百五十六名、定時制十八名、計二百七十四名の新入生を迎え、平成二十三年度がスタートしました。以来、生徒諸君の活躍はめざましく、東信大会においても優秀な成績を収め、昨年より多い十三の班が県大会出場を果たしました。また、各専門科の授業の充実や進路指導の一助にと、職場見学・職場体験事業、高大連携事業等も充実させていく予定です。

過日、同窓会三役会に出席させていただき、同窓生の皆さんの母校に寄せる熱き思いや期待の大きさをひしひしと感じ、心が引き締まる思いでした。二万七千人を超える同窓生の皆さんを見守ってきた虚空蔵山を間近に仰ぐ緑豊かな環境の中、本校で学ぶ生徒諸君が、より良き道を自分で切り開き自分で歩んでいけるように、職員一同全力で取り組む所存でありますので、今後ともよろしくお願いいたします。

第52回千曲祭

テーマ

Glitter

～輝く虹色の願い～

8/27(土)
28(日)



皆様のお越しをお待ちしております!!

平成23年度 上田千曲高等学校

日時 平成23年9月10日(土)

会場 ささや

長野県上田市中央2-15-12
TEL 0268-22-0128

同窓会総会
のご案内

記念講演 演題:『これからの日本』

講師: 日刊ゲンダイ 編集局長 藤田 学 先生

受付 午後1時より

総会 2時から3時まで

記念講演 3時より50分間を予定

アトラクション 本校吹奏楽班による吹奏楽演奏会を4時より30分間を予定

懇親会 4時45分頃からの予定

会費 3,000円(受付にて)

申込締切 8月31日(水)

申込先 同窓会事務局へ

ハガキ又はFAXでお申し込みください。

〒386-8585 上田市中条626

上田千曲高等学校内 同窓会事務局(小林又は南波)

TEL/FAX 0268-26-2898(同窓会)

TEL 0268-22-7070(学校代表)

FAX 0268-23-5370

新任挨拶

全日制教頭

田村 浩啓



この四月の人事異動により、上田千曲高等

学校に着任いたしました。どうぞよろしくお願い致します。

四月一日に、こちらの学校に来て感心したのは、生徒たちの挨拶です。おそらくクラブ活動で登校してたであろう彼らや彼女たちが、全く面識のない私に元気に「こんにちは」と挨拶をしてくれました。こちらも緊張して登校したのですが、この一言で心が和み、「とてもよい学校に来ることができた」と思いました。

昨今の社会情勢の中で、若者のコミュニケーション能力に関する指摘が、とかく話題になります。教育に携わる者として、本校の生徒たちからの挨拶を受けたときに、正直安心したと同時に、あらためて挨拶の持つ効用の大きさを体験しました。この良き伝統を絶つことのないように、微力ながら尽くしていきたいと考えています。

最後になりましたが、同窓会の母校への変わらぬご支援をお

願ひし、また、皆様方のご健勝を祈念して着任の挨拶とさせていただきます。

定時制の近況

定時制教頭

篠原 康広

定時制は四月に一八名の新生を迎え、生徒五一名、職員一〇名で新しい年度を迎えました。

四年生は五名だけですが、全員が生徒会役員となり、新しい取り組みに積極的にチャレンジしています。最近では、昨年度行っていなかった春のクラスマッチを復活させ、卓球とバドミントンで充実した時を過ごすことができました。また、ずつと行われていなかった春の生徒総会も実施する予定です。生徒全体も、落ち着いた雰囲気の中で、毎日の学習や行事に取り組



んでいます。

現在、定時制では、卒業後、社会で自立できる生徒を育てることを目標に、すべての教育活動を進めています。その一環として、今年度からキャリア教育の実践を始めています。具体的には、挨拶の励行・言葉づかいから、就業体験、ジョブカフェ信州による進路講話・適性検査まで、さまざまな取り組みを行っています。今後も、同窓会の皆様の一層のご支援をお願いいたします。

第一回63会を振り返って

63会 事務局長

山口 修二

初めに、この度未曾有の震災に見舞われた皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い復興を願っております。



ます。

東北大震災の翌日3月12日袋町の香青軒にて63会(同窓会)を初めて開催しました。40代になった仲間が集い、楽しく昔話に花を咲かせました。

開催に向けて各クラス2名の実行委員の協力を得て、多くの仲間と楽しいひと時を過ごせた事を嬉しく思います。また、第二回63会を新しい実行委員のもと5年後に開催する予定となっております。今回参加して頂いた方々、都合が合わず参加出来なかった方々も合わせ、より多くの方々にご出席頂きます様お願い致します。

さて、私たち63年卒の時代は、少しだけバブルと言われる好景気を知り、また、100年に1度の不景気、未曾有の自然災害などを経験する時代を生きてい

ます。私達仲間はいろいろな困難に負けず、まだまだ上を向いて進んでいきます。上田千曲高校卒業生の、地域広域他、それぞれの場所での益々の活躍を祈念しております。

同窓会協力金の御礼と御願い

旧職員の先生方、同窓生の皆様には昨年度も同窓会活動のために協力金を賜り厚く御礼申し上げます。年度内で六五五名の方々より、一、七二四、六八〇円のご協力を頂きましたこと、この場をお借りして改めて深謝がたご報告申し上げます。

尚、本年も引き続き協賛金のご依頼を致しております。一口千円(幾口でも可)ですが、宜しくお願い申し上げます。

また、来年度の同窓会報は、協賛金を頂いた方々を中心にお届けの予定ですが、御了承のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。



商業科の卒業生

『全経簿記検定上級』

に合格!

簿記班

平成二十三年二月二十日、三年の最後までチャレンジを続け、みごとにこの検定試験を在学中に合格した卒業生がいます。渡邊拓也君は、この四月から都内専門学校で税理士コースに身を置き、努力を続けています。高校生の税理士国家試験受験資格は、『全経簿記検定上級』か『日商簿記検定1級』に合格する事です。国税庁が公認会計士二次試験合格者などを受験資格該当者としていることから、この検定の難しさが分かります。彼は「高校に入ってから初めて学んだ簿記のお陰で自分が変わったような感じがします。自分は大会や検定や人間関係を通じてこの三年間で成長できたことをとても嬉しく思います。もちろん、周りの人たちの支えがあつての三年間でしたが、とても充実させることができました。今回のことに満足せずにあくまで通過点として、更に上へ上へと進みます。三年間本当にありがとうございました! 春から苦しくても絶対に諦めません。応援宜しくお願いします」と抱負を伝えてくれました。



二年連続 団体

北東北インターハイ出場

男子ソフトテニス班

六月四・五日に行われた、平成二十三年度長野県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技会において、団体戦二年連続九回目の優勝、個人戦では一位、二位、三位の成績を残し、来る七月二十八日・三十一日、青森市で開催される平成二十三年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技大会(インターハイ)の出場権を獲得いたしました。

今年のチームはキャプテンを核に二年生主体の若いチームです。三年生は三人しかいませんが確実に力を付けて結果を出してくれました。

震災の地でのインターハイ開催であり、「ソフトテニスが出る喜びと感謝の気持ちを込めた試合をする。」を合い言葉にして、子供達が持っている力を十二分に発揮して最高の成績を残すために頑張ります。



上田日本無線社長室を訪問

(昭和41年 電気科卒)



上田日本無線社長
降旗次男

2年前に上田日本無線株式会社取締役社長に就任された、降旗次男さんに取材をさせて頂きました。

降旗さんは昭和41年、電気科の卒業生です。生まれは安曇野。小学校から上田に來られて六期生となる上田千曲高校電気科に入学。当時は、就職するには実業高校の上田千曲高校へとと言われていたそうです。地元企業に勤めたいと考え電気科へ進学したそうです。

入学した上田千曲高校では、昼休みになると先輩が来て「我々が設立まもない電気科の歴史を築かなければならない」と指導され、私たちが後輩の為に歴史を築く責任があると思ったことが高校時代の印象に強く残っているそうです。

会社に初めてお邪魔しましたが、敷地の入り口から社内まで、とても綺麗に整備されています。お話を聞いたところ、掃除・補修など自分達でできることは自分たちでやっという方針から、敷地入り口にあるWelcomeボードも会社の「もの作りチーム」社員のみなさんで作られたものでした。このWelcomeボードは季節や時間により変化するように設定されているそうで、季節の写真と社名が表示されていました。

また、新幹線から見える看板も社員でLEDを使用し手作りされたものだそうです。

このように自分たちで行うことで「社員教育として経験にまさる教師はない」とおっしゃっていました。

以前は、なかなか入社できない会社として地域に認識されてきた会社も何回かの苦難の時期があり、受注

の確保と利益を上げ、雇用の確保はきちんとしていく事の大切さを強く感じられ、様々な苦勞をされましたが、企業努力により7年前から連続の黒字、昨年から増収増益となったそうです。

今は、医療系の製品に力を入れ、東京などの展示会へも積極的に展開しているとのこと。

上田千曲高校の卒業生には極力、地元企業で活躍して欲しいとエールを送っておられました。

上田日本無線には600人の社員の中、100人以上の上田千曲高校の卒業生がおり、「さざなみ会」として通信を発行したり旅行をしたりして交流を深めておられます。また、「さざなみ会」からは学校にも寄付を頂いています。これからも10年毎の節目には寄付ができるようにと考えておられるそうで、感謝の気持ちで一杯になりました。

社長としてご活躍の降旗さんですが、会社に入ってからバレーボールを始め、ママさんバレーチームのコーチなどとして活躍したそうです。今は、長く続けられるスポーツをしようと考え、ゴルフを趣味にされています。

ゴルフは紳士のスポーツ。雨が降ってもやるし、マナーも大切、自分との戦いでもあり、生涯スポーツとしてやっていけるとおっしゃっていました。また、一緒に飲んでも分かり合えない人もゴルフで1日一緒にまわると、その人の性格が伝わってくる事もあるそうです。ゴルフは、年に5、6回奥様とも楽しむようになり、夫婦で共通の趣味があることも大切だと微笑んでおられるのが印象的でした。



同窓生の活躍

多くの出会いに支えられて

金佳工業株式会社 代表取締役
社団法人 上田青年会議所 第53代理事長

坂口 哲也(平成2年 機械科卒)



私は上田千曲高校機械科を平成2年3月に卒業しました。その後専門学校に進み、卒業後は父親の経営する会社へ勤め、平成9年より父親に無理を言い代表取締役社長として会社を引き継ぎました。やる気だけで右も左も分からない状態でしたが、ただがむしゃらに働いていた記憶があります。朝起き、出社後は工場の内勤を夜遅くまでこなし、帰宅後は経理に勉強にと、仕事に没頭する毎日でありました。一年後に父が他界し、不安と責任からの重圧は増しましたが、より多くの方と出会い刺激を受け、内外問わず周りからの援助を多く頂き、何とか会社を新体制として軌道に乗せる事が出来ました。現在では、各種部品の板金・溶接加工、パイプ加工、金属切削加工と総合的生産が可能な会社として、更なる技術向上と必要とされる人材が揃った、地域に貢献出来る企業創りを目指し、日々努力を重ねております。これも偏に高校時代と専門学校時代で先生方からご指導頂いた事と、友人達と切磋琢磨した経験が生きているのだと思います。

また、仕事上で交友のありました先輩より、平成11年に(社)上田青年会議所へ入会のお誘いを承け、今年度は会を代表する立場である理事長として活動しております。この会は50年以上の歴史ある会として、上田地域広域を活動エリアとした男女問わず20歳から40歳までの年齢制限の中でまちづくりについて運動・活動する団体であります。上田千曲高校卒業生の現会員も多く、また、40歳定年を迎え卒業されたOBの中にも上田千曲高校卒業生の先輩方も多く在籍される会であり、組織は日本全土・世界中に広く展開されており、日本だけで704の青年会議所が各地で活動し、全世界で約26万人の会員と約250万人のOBがいる世界で最も大きい青年団体であります。この会での活動自体や活動の中での人との出会い、同じこの地域で頑張っている若手経営者・起業家、まちづくりに熱い思いを寄せる青年たち＝仲間との切磋琢磨した時間、どこか似た境遇での仲間づくりが今の私を支えていると言っても過言ではありません。40歳で定年となりますので、私は今年が最後の活動となりますが、OBとして見守り続けますので、今後も上田青年会議所へ上田千曲高校卒業生からより多くの後進との出会いと仲間が生まれる事をこの場をお借りしましてお願いいたしますと共に、これからも地域に有益な人材を生み出し続ける母校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

金佳工業 株式会社 HP: <http://www.kinkei-k.com/>
(社)上田青年会議所 HP: <http://www.uedajc.com/>

思い・描き・創る。 すべては己の設計図に。

池松 勇樹(平成11年 建築科卒)



私は今、縁あってうえだNaviという地元密着型のフリーペーパーの編集長として活動させていただいています。

高校卒業後、3年間勤めた建設会社を退職し、本当に自分のやってみたいことは何かを探すために手探りな状況で20代をスタートしました。そのなかで、軽井沢のホテルに勤めている時期のある休日、軽井沢のまち全体が見渡せる高台から眼下に広がる町を眺めながら、ふと疑問を感じました。上田には多くの歴史や資源もある、東京からの距離もほとんど変わらないのに、なぜ観光地としての認知度には大きな違いがあるのだろうか、軽井沢と上田を比較すればするほど疑問が生じ、その理由を知りたくて上田に戻ってきました。

ホテルマンとして普段のサービスに必要な軽井沢の情報を毎日チェックしていた自分にとって、日常の情報取得は当たり前でしたが、それと同じことが上田ではできず、リアルタイムな情報がほとんど手に入らないという現実にぶつかりました。同時にそのとき出会った多くの人が口をそろえて「上田は何もなくてつまらない」と言っていたことに驚き、その言葉を聞けば聞くほど私は「上田がつまらないなんて言わせない」という闘志が沸きました。それをきっかけにうえだNaviというフリーペーパーの構想をはじ

め、仲間を集い、平成19年の6月に創刊しました。若者を中心としたまちづくり事業として平成19年度の長野県の補助対象事業としても認められ、その年の県の補助事業で最優秀賞に選ばれて知事からの表彰を受けました。それも相まって、名も知られていなかった一枚のフリーペーパーが、創刊から4年目を迎える現在、上田市内だけで読者1万人以上というメディアとして大きな成長を遂げています。多くの方々との出会いによって、地元の魅力を再発見してきた4年間ですが、現在は地域のお店や企業の方々、行政との協働による活動など、まちの一部としての役割も大きくなっています。

私の根底にはいつも高校時代に学んだ建築の考え方があります。建築は、整地された地面から基礎、土台、柱、梁と一つ一つが順序良く組み立てられていくことで出来上がります。そして一人の力では出来上がりません。「物事は順序なくして成り立たない」という先生の言葉が今でも心に残っています。その心得は建築だけに限らず、すべての事柄に当てはまるのだということを身をもって知りました。

最後になりますが、どんなことをするにも設計図が必要で、その設計図を描くために毎日を生きることによっていつか必ずその設計図が完成します。あらゆる要素を満たした設計図が完成したときが、自分の夢が形になっているときだと思います。今の私もまだうえだNaviの設計図を描いている途中です。この設計図の完成を楽しみにしながらこれから毎日充実したものにしていきたいと思っています。

うえだNavi HP: <http://www.ueda-navi.jp>

齢82歳で木彫りを初披露

北村 國夫(昭和21年 機械科卒)

初めての作品展「木彫三昧ひとり展 野趣～幽玄へのいざない」を5月12日から16日まで、上田市の松尾町アートギャラリーで開きました。会社を定年退職後に趣味で木彫りを始めて18年になり、作品が増えてきたため、「多くの人に見て頂き、刺激にしたい」と企画。能面や壁掛け、盆など42点を展示させて頂きました。



私は、昭和18年4月上田千曲高校の前身の「市立上田商工学校」機械科第1期生として入学、昭和21年3月に1年限りの名称であった「市立上田工業学校」を卒業しています。

但し在学中の19年7月から、私達機械科の生徒は上田市初の学徒勤労動員で市内の軍需工場に入所させられ、終戦の20年8月15日まで学校には戻れませんでした。勉強したくて入学したものの、まなならぬ時代でした。

その後60年以上の時が流れ、平成19年9月に母校の創立90周年記念第1回総合作品展工芸の部に、還暦後に学んだ木彫り作品を展示させて頂けたことに絆と感慨を覚えます。

こんな私ですが、そもそも創作好きのルーツは幼少期にあったようです。亡き母の弁によると「小さな頃から絵が好きで、何時も鉛筆を離さなかった」とのことでした。懐かしい小学校時代の風景画・静物画や大東亜戦争緒戦の海戦図が今も手元に残っています。

母校卒業後は昭和22年より、電力会社の千曲川並びに犀川水系の水力発電部門に勤務し、保守・運営、管理一筋に働かせて頂き、定年後も引き続き、関連会社で同系列の仕

事に従事し、45年余の長い年月を無事勤め上げることができました。

65歳になった平成6年4月に、ボケ防止効果を期待し「上田カルチャースクール」で木彫りを習い始めました。農民美術作家の清水義博先生に師事し、木彫りの魅力に惹かれ、浅間山や上田獅子、草花などを彫っていました。当時通っていた水泳教室の講師をモデルにした作品「乙女とバラ」を14年に作ってからは顔を彫る楽しさを知り、能面も打つようになりました。16年に初めて制作した「般若」の面は幸運にも第53回市総合美術展で市長賞に選んで頂きました。最近では能面打ちに没頭しておりますが、一つの面を仕上げるまでに半年ほどかかります。

前述の作品展では、若い女性の「小面」や「翁」など、図書を参考に試行錯誤で仕上げた能面10点のほか、飛翔する2羽の白鳥を刻んだ「旅立ち」(第55回市総合美術展市長賞受賞作)などを展示させて頂きました。

ご来観いただいた皆様には「能面は厳格で品格がある。作者の人格が垣間見える」とか「魂が込められた作品群。同世代として励みになる」など、嬉しいご感想、沢山のご助言を賜りました。この先いつまで彫り続けられるか自分でも分かりませんが、ご評価の数々を私の創作活動のエネルギー源、日々の励みとして、更に精進したいと思っています。

そのためにも日々健康でなければと、週3回を目標に市内の温泉プールに老夫婦で通い、水中ウォーキングに勤しんでおります。



(有)坊乃家

代表取締役 成澤 好貴
(昭和58年 商業科卒)



小学生の頃から決めていた料理人になるべく、高校卒業と同時に東京の会社に就職をしました。しかし、洋食希望だったにもかかわらず、配属は和食部へ。なんだかんだ2年半程勤めた後、新天地を求めてイタリアンの世界へ…。

東京、サンフランシスコ、ニューヨークと渡り歩き、10年後に上田に帰って来ました。今から18年前の話ですね。

自分で言うのもなんですが、いろいろな有名人にも認めて頂いていたので、店を開けばお客様が来ない訳が無い。と思っていました！

しかし、蓋を開ければ9年間も閑古鳥の鳴く有り様だったのです。その時から、いろんな学びを得る事が出来ました。「今の状況は僕が作り出している。」
「誰がこの店のお客様なのか？」

すべて、自分が源泉に立つ事から初めてみると、上田で商売している自分がしっかり見えて、なるほど、皆の欲しい事をするのが僕らの役目だって分かりました。

自分が決めてそう成りたい！
と思ったらとにかくやり続ける事！ 思い続ける事！
自分が源泉なのだから。
そして、そんな僕の横にいつも居てくれる妻、子供達に感謝です。

上田の飲食店に千曲高校卒業生の成澤あり!!
と言って貰えるように頑張りたいと思います。



進路
概況

昨年度、高校生の管内求人はいずれも減少しましたが、全国的には大学生の就職内定率が過去最低を更新するなど、大変厳しい状況でした。そのような中で、本校は3月末時点で100%が就職内定しました。7つの専門科を有する総合専門学校として、相変わらず地元企業からの期待は大きいといえます。一方、進学者はここ数年7割を超える傾向で推移しています。多くは専門科の特性を活かし、さらに知識・技術を磨くために学校選択をしています。

昨年度の就職者は66名(24.9%)、進学者は195名(73.6%)、その他4名(1.5%)であり、前年度に比べ若干就職者が増えました。内訳は大学54名、短大32名、各種専門学校109名でした。

就職
状況

昨年は県・労働局・ハローワークなど関係方面で、高校生の就職改善の取り組みがなされ、上田管内の求人にも回復しました。しかし実際には、求人枠に満たない状態での求人打ち切りや、専門学校生と同じ土俵での選考等、求人数の増加を感じさせない厳しい就職戦線でした。また、販売・サービスなど、求人数の少ない職種については、一般求人から高校求人に変更して対応しました。

昨年9月の第1回目の入社試験では、例年より不合格者が多かったが、これは企業の選考基準が上がっていることの表れです。しかし、本校は地域の専門学校としての伝統、実績に支えられて、選考二次・三次と順次内定を決めることができ、最終的に就職希望者全員が内定しました。

進学
状況

昨年度は国公立の大学・短大に10名以上の生徒が挑戦し、信大へ3名、県短期大学へ2名が合格しました。今まで指定校推薦に頼って受験へのチャレンジを避ける傾向があった中で、昨年は好ましい傾向でした。挑戦しないことには結果は得られないので、安易な指定校選択でなく、学校をよく調べ、行きたい学校を受験するという方向になればと思います。そのためにも、1、2年の段階で目標設定を行い、意識の高い生徒の把握と挑戦意欲の喚起を図り、3年では補習体制を充実させる必要があります。また、現在は取り組んでいないセンター試験の受験についても、大学進学者の意識改革を図る観点から、検討してもよい課題です。

専門学校進学者は本校の進路先として一番多く、中でも県工科短期大学には11名が進学しました。看護系専門学校には9名が進学しています。専門学校は多様な分野を学べ、本校生徒には人気があります。

平成22年度
進路室から
進路指導主事 大塚 章

□4年制大学 54名

信州大学	3	東京工芸大学	1	大阪芸術大学	1
東洋大学	4	日本工業大学	3	大同大学	1
日本大学	1	足利工業大学	3	長野大学	4
国土館大学	2	埼玉工業大学	2	愛知学泉大学	1
東海大学	1	関東学院大学	1	関西福祉科学大学	1
駒澤大学	1	諏訪東京理科大学	1	健康科学大学	1
二松学舎大学	1	新潟工科大学	1	高崎商科大学	3
神奈川大学	1	東京経済大学	1	松本大学	3
帝京大学	1	東京国際大学	1	西武文理大学	1
豊田工業大学	1	大正大学	1	明海大学	1
金沢工業大学	1	城西大学	3		
千葉工業大学	1	千葉商科大学	1		

□短期大学 31名

長野県短期大学	2	清泉女学院短期大学	2	城西短期大学	1
大月市立大月短期大学	3	松本大学松商短期大学部	2	相模女子大学短期大学部	1
上田女子短期大学	7	高崎健康福祉大学短期大学部	1	武蔵丘短期大学	1
信州短期大学	5	高崎商科大学短期大学部	1		
長野女子短期大学	4	自由が丘産能短期大学	1		

□専門学校 111名

長野県工科短期大学校	11	高崎動物専門学校	1	東京コミュニケーションアート専門学校	1
上田情報ビジネス専門学校	9	国際調理製菓専門学校	1	東京リゾート＆スポーツ専門学校	2
中央工学校	9	黒木学園カレッジオブキャリア	1	東京医療専門学校	1
大原スポーツ公務員専門学校	5	小諸看護専門学校	1	東京医療秘書福祉専門学校	1
長野調理製菓専門学校	5	上田福祉敬愛学院	1	東京栄養食糧専門学校	1
長野理容美容専門学校	5	信州医療福祉専門学校	1	東京観光専門学校	1
エコール辻東京	3	森林たくみ塾	1	東都リハビリテーション学院	1
太田医療技術専門学校	3	諏訪赤十字看護専門学校	1	日本スクールオブミュージック	1
長野病院附属看護学校	3	専門学校カレッジオブキャリア	1	日本ナレーション演劇研究所	1
群馬自動車学校	2	早稲田速記医療福祉専門学校	1	日本外国語専門学校	1
佐久総合病院看護専門学校	2	総合学園ヒューマンアカデミー名古屋校	1	日本建築専門学校	1
上田看護専門学校	2	大原学園 長野校	1	日本自動車大学校	1
大原簿記情報ビジネス医療専門学校	2	長野医療衛生専門学校	1	日本写真芸術専門学校	1
長野県林業大学校	2	長野救命医療専門学校	1	日本電子専門学校	1
東京調理師専門学校	2	長野県長野技術専門学校	1	日本美容専門学校	1
日本工学院八王子専門学校	2	長野平青学園	1	武蔵野調理師専門学校	1
SHOW 国際音楽エンタテイメント	1	東海工業専門学校 金山校	1	文化服装学院	1
アーデン山中ビューティーアカデミー	1	東京 CPA 会計学院	1	未来ビジネスカレッジ	1
フェリカ建築＆デザイン専門学校	1	東京 IT 会計専門学校	1	了徳寺学園医療専門学校	1
華調理専門学校	1	東京 IT 会計法律専門学校大宮校	1		

□就職 65名

中部電力株式会社長野支店	2	エスビー食品株式会社上田工場	1	医療法人 慈修会	1
東日本旅客鉄道株式会社	2	関越メルテック株式会社	1	社会福祉法人 敬老園	2
財団法人 中部電気保安協会	1	株式会社ツルヤ	2	社会福祉法人 みまき福祉会	1
日信工業株式会社	3	上田電鉄株式会社	1	依田窪老人保健施設	1
上田日本無線株式会社	1	信越電線株式会社	1	介護老人保健施設チェリーガーデン	1
山洋電気テクノサービス株式会社	2	石井瓦工業株式会社	1	株式会社アルテミス	1
アート金属株式会社	1	株式会社カワベ工業	1	有限会社柏屋別荘	1
シナノケンシ株式会社	2	株式会社フェステック	1	株式会社柏屋本館	1
長野計器株式会社	5	株式会社長川原金属	1	休暇村鹿沢高原	1
東日本電気インジニアリング(株)長野支店	1	山口電材株式会社	1	ホテル清風園	1
新光電気工業株式会社	1	岡田海苔株式会社	1	ささや	1
多摩電気工業株式会社	2	株式会社上小共同生コン	1	ミシエラ・ドーロ・ジャパン(株)	1
日精樹脂工業株式会社	1	株式会社食品流通システム	1	株式会社玄海	1
日精エーエスビー機械株式会社	1	アルファデザイン株式会社	1	お菓子工房 ル・ポミエ	1
コトヒラ工業株式会社	1	長野県連合青果株式会社	1	NPO 法人普通の暮らし研究所 岩井屋	1
ミネベア株式会社	1	小林脳神経外科・神経内科病院	2	隆盛コーポレーション	1
シチズン時計ミヨタ株式会社	1	医療法人 慈善会 安藤病院	1	自衛官	1

平成23年度 上田千曲高等学校

クラブ活動報告



●野球

東信大会3位→県大会出場

平成22年度夏の県大会

初のベスト4を果たしました

●男子バレー

東信大会ベスト4→県大会出場

●女子バレー

東信大会出場

●卓球

東信大会女子団体6位→県大会出場

女子ダブルス12位(小林・小山)→県大会出場

●陸上競技

東信大会800m 5位(宮澤)、走高跳 4位(高塚)

八種競技 3位(小宮山)、走高跳 8位(花岡)→

4名県大会出場

県大会800mベスト16(宮澤)、八種競技7位(小宮山)

●男子バスケット

東信大会出場

●女子バスケット

東信大会出場

●柔道

東信大会男子団体7位→県大会出場

男子個人66kg級ベスト8(小林)、73kg級ベスト8(中村)、90kg級ベスト8(清水)、100kg級

ベスト8(小林)、100kg超級ベスト8(稲垣)

東信大会女子個人48kg級3位(片桐)

県大会男子個人100kg超級5位(稲垣)→北信越大会出場

●男子ソフトテニス

国体一次東信予選会1位(平林(祐)・宮本組)、2位(清住・由井組)、3位(小出・笠井組)、ベスト8(関(美)・関(昭)組、後藤・下里組)、ベスト16(堀口・田中組)→6組県大会出場

国体二次東信予選会1位(清住・笠井組)、2位(平林(祐)・関(昭)組)、3位(小出・由井組)、(関(美)・宮本組)、ベスト8(堀口・田中組)、ベスト16(後藤・下里組)→6組県大会出場

国体一次県予選会ベスト8(平林(祐)・宮本組)

総体東信予選会団体1位→県大会出場

個人1位(清住・笠井組)、2位(平林・関(昭)組)

3位(関(美)・宮本組)、3位(小出・笠井組)

ベスト8(柳澤・下里組、後藤・中村組)

ベスト16(堀口・田中組)→7組県大会出場

総体県予選会団体1位→インターハイ出場(青森)

個人1位(平林・関(昭)組)、2位(清住・笠井組)

3位(関(美)・宮本組)→3組インターハイ出場(青森)

北信越大会団体ベスト8

個人2回戦(平林・関(昭)組)、(清住・笠井組)、(関(美)・宮本組)

●女子ソフトテニス

国体一次東信予選会1回戦(佐藤・田中組)、2回戦(藤岡・柘植組)

国体二次東信予選会出場

総体東信予選会団体予選リーグ敗退

個人2回戦(佐藤・田中組)、ベスト16(柘植・藤岡組)→(柘植・藤岡組)県大会出場

総体県予選会1回戦(柘植・藤岡組)

●ソフトボール

東信大会ベスト3→県大会出場

●水泳

東信大会50m自由形8位(山室)、200m個人メドレー2位・400m個人メドレー1位(赤香)→県大会出場

100m・200m背泳ぎ3位(新田)、400m自由形3位、800m自由形2位(江藤)

●サッカー

東信大会ベスト3→県大会出場

●弓道

東信大会個人3位(黒岩)、5位(竹花)→県大会出場

東信大会団体男子A 5位→県大会出場

県大会男子団体4位

●バドミントン

東信大会男子団体優勝→県大会出場

ダブルス準優勝(小相・村越組)、3位(中城・中村組)→2組県大会出場

ベスト8(関口・柳澤組)、ベスト16(関・山崎組)

男子シングルス3位(中村)、ベスト8(小相澤)

→2名県大会出場

ベスト16(中村)

東信大会女子団体準優勝→県大会出場

ダブルス3位(木藤・渋谷組)→県大会出場

ベスト16(新村・宮川組)

シングルス3位(木藤)、ベスト8(渋谷)→2名県大会出場

ベスト16(新村)

県大会男子団体5位

ダブルスベスト16(小相・村越組、中城・中村組)

県大会女子団体ベスト16

ダブルスベスト16(木藤・渋谷組)

●ハンドボール

東信大会6位→県大会出場

●アーチェリー

県大会女子個人4位(小澤)→北信越大会出場

男子個人4位(宮島)

北信越大会女子個人17位(小澤)

●定時制柔道

男子個人重量級県大会優勝(西沢)→北信越大会出場

●電気

ロボコンin信州マイコンカーラリー部門準優勝(水出康太)

マイコンカーラリー北信越大会予選50位(水出康太)→決勝31位(水出康太)

●書道

県展出品・千曲祭作品展示・東信高等学校書道展

作品展・全日本高等学校書道作品展

●茶道

千曲祭発表・呈茶

●家庭(食物)

千曲祭展示発表・調理実習

●家庭(被服)

千曲祭展示発表

●写真

写真甲子園2011応募 千曲祭作品展示

●吹奏楽

いきいき交流会(千曲町自治会)・吹奏楽コンクール東北信地区大会→県大会出場

千曲祭演奏、同窓会総会アトラクション演奏

●軽音楽

長野県高等学校軽音楽系クラブ合同演奏会

Power Live 2011 TH 奨励賞→県大会出場

●ボランティア

毎週月、水、金 近隣の高齢者(うえだはら敬老園)、障害者(上田しいのみ園)、児童(川辺町児童センター)各施設へ訪問

高校総合文化祭(9/29予定)発表・展示に向けて他校と実行委員会を組織し活動

●放送

第58回NHK杯全国高校放送コンテスト第48回長野県大会(長野市勤労者女性会館しなのき)

・朗読部門 高橋実桜花

『風立ちぬ・美しい村』奨励賞

・アナウンス部門 鈴木真弓

『上田市のロケ地について』優良賞

・アナウンス部門 佐々木恵利子

『目に見えない食品について』優良賞

・創作テレビドラマ部門『便利屋』優良賞

・創作ラジオドラマ部門『Friend Ship』優良賞



●事務局から

同窓会館移転のお知らせ

本年度4月から同窓会の事務局が「桐葉館」に移転いたしました。

庭も役員の手により花が植えられ、マリーゴールドや百合など数種類の花が咲いています。



同窓会(事務局)からのお知らせ

★同窓会員の情報募集

今年度、初めて同窓会員の活躍のページを設けました。来年度も引き続き企画する予定です。推薦して頂ける方がいらっしゃいましたら事務局までご連絡ください。これからも身近な情報を掲載したいと思っています。

★広告募集

同窓会報に広告を希望される企業様は、事務局までご連絡ください。

★住所変更等

住所の変更等がありましたらご連絡ください。
TEL: 0268-22-7070(学校代表)
FAX: 0268-23-5370

★同期会について

同期会等を開く予定の幹事さんは、事務局へご一報ください。

上田千曲高校同窓会
ホームページ

これからも暫時更新し、新しい情報をお届けしていきますので是非ご覧ください。



<http://www13.ueda.ne.jp/~ucd90/index.html>

編集後記

今回も各界、地域でご活躍の会員の寄稿を頂き紙面を飾ることができました。今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。(担当: 関 磨子)

平成22年度 上田千曲高等学校同窓会 決算報告書

＜一般会計の部＞

1. 総括	歳入	総額	4,879,554円
	歳出	総額	3,955,650円
	差引	残額	923,904円

2. 歳入

項目	予算額(A)	収入額(B)	増減(B-A)	摘要
前年度繰越金	173,013	173,013	0	
同窓会会員協力金	1,500,000	1,714,680	214,680	
入会金	2,940,000	2,920,000	-20,000	292名×10000
雑収入	50,500	71,861	21,361	
合計	4,663,513	4,879,554	216,041	

3. 歳出

項目	予算額(A)	支出額(B)	増減(A-B)	摘要
事務費	720,000	864,782	-144,782	通信費、光熱費、コピー機リース代他
慶弔費	320,000	267,402	52,598	関東支部祝儀、餞別ほか
生徒奨励金	360,000	294,984	65,016	
助成金	500,000	500,840	-840	積み立て
旅費	150,000	135,000	15,000	関東支部
総務部費	300,000	413,295	-113,295	総会費、講師謝礼
広報部費	1,600,000	1,348,347	251,653	会報発行発送
企画部費	150,000	130,000	20,000	ゴルフコンペ補助作品展 積み立て
会計部費	5,000	1,000	4,000	会計監査
予備費	558,513	0	558,513	
合計	4,663,513	3,955,650	707,863	

上田千曲高等学校

23年度同窓会ゴルフコンペ開催
のお知らせ

■日時／平成23年10月8日(土)

AM9時 集合・AM9時36分 スタート

■場所／浅間高原カントリー倶楽部

長野県東御市和6411 TEL.0268-64-4211

■プレー代／10,500円(食事代込み)

■会費／3,000円(パーティ費込み)

■表彰式・慰労会

プレー終了後ゴルフ場にて行います。

■申し込み先

・上田千曲高校同窓会事務局
(いつも留守なのでFAXのみでお願いします)

FAX.0268-26-2898

・(株)スター商会(堀田社長)

TEL.0268-35-0246 FAX.0268-35-0684

E-Mail:uedastar@msb.biglobe.ne.jp

■受け付け締め切り／平成23年9月20日(火)

■申し込み方法

お一人様あるいは御仲間での組み合わせも可能です。

※定員は60名とさせていただきますのでお早めにお申し込みをお願いします。

※宿泊を希望する方には宿泊施設のご紹介もいたします。
(1ヶ月前に申し込みをしてください)

